

2025年度第2回西日本放送番組審議会

開催年月日 2025年5月20日（火）14:00～16:00
開催場所 西日本放送岡山本社 3階会議室
委員の出欠 委員総数 8名
出席委員数 4名

出席委員の氏名

西	原	義	一	委員長
岡	田	佳	子	委員
三	好	千	尋	委員
小	田	英	城	委員

欠席委員の氏名

佃		昌	道	委員
森	下	聖	史	委員
古	市	聖	一郎	委員
大	林	伸	二	委員

社側の出席者

中	村	卓	朗	（代表取締役社長）
竹	内	陽	一郎	（取締役営業統括 業務推進局長）
和	家		剛	（執行役員報道制作局長兼香川報道制作部長（制作担当））
久	保	和	照	（岡山本社中国総支社長兼営業部長）
吉	田		剛	（香川報道制作部長）
伊	達	典	子	（香川報道制作部）

事務局

十	鳥	真	理	（編成業務部長兼放送審議室長）
住	吉		剛	（編成業務部兼放送審議室）
山	本	峰	子	（放送審議室）

2025年度第2回番組審議会議事次第

開催日 2025年5月20日（火）14:00～16:00

場 所 西日本放送岡山本社 3階会議室

〔議 事〕

議事進行 西原義一委員長

社側挨拶 代表取締役社長 中村卓朗

1. 議 題 テレビ番組
『みちしるべ 高校生が見つめた命のビザ』
2. 質疑応答
3. 番組種別の報告

〔参考資料〕

- 放送番組の種別の基準
- 2024年度下期 番組種別放送時間・番組表
2025年度4月 基本番組表
- 2024年度第10回番組審議会議事録
- 視聴者対応 3・4月
- BPO報告 No.275・276

〔次回開催予定〕

開催日 2025年6月10日（火）14:00～16:00

場 所 西日本放送高松本社 5階役員会議室

TEL 087-826-7241

議 題 ラジオ番組

『中四国ライブネット 香川発
春らんまん 讃岐路満喫 春だより』

放送日 2025年3月16日（日）18:00～20:00

制 作 RNC西日本放送ラジオ

以上

【議事概要】

今回は、テレビ番組「みちしるべ 高校生が見つめた命のビザ」を視聴していただきました。

委員からは、30 分の番組ですが、その中に命の尊さや千畝の勇気ある行動、決断力を始め、もし自分があの場にいたらどうしただろうかと等々、様々な観点から学べる教材だと思った。

番組は自らの足で訪ね歩く高校生たちを追っているが、とても素晴らしいストーリーになっていて、感動した。

もし杉原さんのことを知らない人がこの番組を見たときのために、彼がどういう人かの説明があれば、もっと興味を抱けたのではないかと思った。

とても素晴らしい番組だと思う。高校生の 3 年間でぎっしりと、不足なく映像で記録されていること。こういった体験を通じて高校生が成長する過程を、生き生きと描いていること。目の前の人を助けたい、ただそれだけ。自分たちも周りの人を幸せにすることが大切だ。そしてそれは色々な方法がある。という共通認識を学んだこと。その 3 点が素晴らしいと思う。

このような番組を見ることで、なぜ戦争が起きるのかなど、考える機会になる。人にとって戦争の問題、人種の問題は定期的に考える必要があると思う。何が正しいかというのは誰も結論は出せないかもしれないが、考えるきっかけになるこのような番組は素晴らしいと思う。

ちょっとモヤっとしたのは、学年全体での取り組みなのか、クラスなのか、有志なのか、どういう単位でどのような活動期間・内容を決めて実施したのか、最初のところでもう少し詳しい説明があると、すっきりしたと思う。との意見がありました。

担当者は、この番組が生まれたきっかけを説明しました。高松高校で歴史を教える三崎先生が、アウシュビッツの虐殺の歴史などを、教科書ではないところで学ばせたいという思いを持っていて、杉原千畝さんの愛と人道にとても惹かれていたようです。最初はこの先生を番組で描きたいという思いがあったのですが、ただ先生が出てくるとどうしても押しつけがましくなりそうだったので、高校生たちが主体的に学ぼう、先生がもっていってくれました。私が取材を始めたのは昨年 10 月からです。それまではとても番組に出来るとは思っていませんでした。理由は、千畝さんは歴史上の偉人であり、話が聞けるわけでもない上に、遠いヨーロッパの出来事なので、身近なところで学んでいけるのかなという不安がありました。ただ、2023 年イスラエルの攻撃で、今まで高校生が学んでき

た千畝さんの行動が自分ごとになったのではないかと思います。

目の前で戦争が始まったのは子どもたちにとっては初めての出来事なので、これなら高校生が等身大で歴史を学びに行っている過程を撮れるのではないかと考えました。

戦争はいけない。平和を伝えたいという思いがあったので、こういう若い高校生たちが平和を伝えていくというのは本当に貴重な機会だったので、これはぜひ伝えたいと思って取り組みました。と回答しました。

審議のあと、放送番組種別・放送番組基準の報告をしました。